

利用に関する声明	マルハニチログループは、2024年度（2024年4月～2025年3月）について、GRIに準拠して報告する
利用したGRI	GRI 1：基礎 2021
該当するGRIセクター別スタンダード	GRI13：農業・養殖業・漁業 2022

GRIスタンダード	開示事項	情報	省略		GRIセクター別スタンダード参照番号
			理由	説明	
一般開示事項					
GRI 2：一般開示事項 2021 1. 組織と報告実務	2-1 組織の詳細 2-2 組織のサステナビリティ報告の対象となる事業体 2-3 報告期間、報告頻度、連絡先 2-4 情報の修正・訂正記述 2-5 外部保証	企業案内>会計概要 統合報告書>会社情報 統合報告書>編纂方針 企業案内>会計概要 統合報告書>編纂方針 旧情報>ディスクロージャーポリシー 統合報告書>マテリアリティの選定状況 - KPI達成状況 統合報告書>第三者保証報告書（2022年株主コーポレート・ガバナンス）			
2. 活動と労働者	2-6 活動、バリューチェーン、その他の取引関係 2-7 従業員 2-8 従業員以外の労働者	有価証券報告書(第81期) p4, p5 サステナビリティ>社会データ集 有価証券報告書(第81期) p8 有価証券報告書(第81期) p8			
3. ガバナンス	2-9 ガバナンス構造と構成 2-10 最高ガバナンス機関における指名と選出 2-11 最高ガバナンス機関の議長 2-12 インパクトのマネジメントの監督における最高ガバナンス機関の役割 2-13 インパクトのマネジメントに関する責任の移譲 2-14 サステナビリティ報告における最高ガバナンス機関の役割 2-15 利益相反 2-16 重大な懸念事項の伝達 2-17 最高ガバナンス機関の集会的知見 2-18 最高ガバナンス機関のパフォーマンス評価 2-19 報酬方針 2-20 報酬の決定プロセス 2-21 年間報酬総額の比率	統合報告書>コーポレート・ガバナンス 統合報告書>コーポレート・ガバナンス 旧情報>コーポレート・ガバナンス 統合報告書>コーポレート・ガバナンス 統合報告書>サステナビリティ管理 統合報告書>サステナビリティ管理 旧情報>コーポレート・ガバナンス 旧情報>コンプライアンス 統合報告書>コーポレート・ガバナンス 旧情報>コーポレート・ガバナンス 統合報告書>コーポレート・ガバナンス 統合報告書>コーポレート・ガバナンス 統合報告書>コーポレート・ガバナンス 有価証券報告書(第81期) p8 ~ p74 ~ p75			
4. 戦略、方針、実務履行	2-22 持続可能な発展に向けた戦略に関する声明 2-23 方針声明 2-24 方針声明の実践 2-25 マイナスのインパクトの是正プロセス 2-26 助言を求める制度および懸念を提起する制度 2-27 法規制遵守 2-28 会員資格を持つ団体	統合報告書>トップメッセージ サステナビリティ>人権の尊重 サステナビリティ>サステナビリティマネジメント グループ(行動指針) 統合報告書>マテリアリティの選定状況 - KPI達成状況 統合報告書>コンプライアンス 統合報告書>コンプライアンス 統合報告書>コンプライアンス サステナビリティ>インシデントへの善処 サステナビリティ>ステークホルダー・コミュニケーション サステナビリティ>有識者との対話 サステナビリティ>労働関係 サステナビリティ>社会データ集			
マテリアルな項目					
GRI 3：マテリアルな項目 2021	3-1 マテリアルな項目の決定プロセス 3-2 マテリアルな項目のリスト	統合報告書>サステナビリティ経営 サステナビリティ>サステナビリティマネジメント サステナビリティ 重要課題（マテリアリティ） 統合報告書>マテリアリティの選定状況 - KPI達成状況 サステナビリティ 重要課題（マテリアリティ）			
気候変動問題への対応					
GRI 13：マテリアルな項目 2021	3-3 マテリアルな項目のマネジメント	統合報告書>サステナビリティ経営 サステナビリティ>サステナビリティマネジメント サステナビリティ>重要課題（マテリアリティ）			13.2.1、13.1.1
GRI201：経済パフォーマンス 2016	201-2 気候変動による財務上の影響、その他のリスクと機会	統合報告書>TCFDアレルワークにもとづく開示 サステナビリティ>気候変動問題への対応>TCFD			13.2.2
GRI305：大気への放出 2016	305-1 直接的な温室効果ガス（GHG）排出量（スコープ1） 305-2 間接的な温室効果ガス（GHG）排出量（スコープ2） 305-3 その他の間接的な温室効果ガス（GHG）排出量（スコープ3） 305-4 温室効果ガス（GHG）排出原単位 305-5 温室効果ガス（GHG）排出量の削減 305-6 オゾン層破壊物質（ODS）の排出量 305-7 窒素酸化物（NOx）、硫黄酸化物（SOx）、およびその他の重大な大気排出物	サステナビリティ>環境データ集 サステナビリティ>環境データ集 サステナビリティ 環境データ集 環境ブリックワークロマガロLCA報告書 環境ブリックワークマガロLCA開示 サステナビリティ>気候変動問題への対応 サステナビリティ>気候変動問題への対応>マルハニチログループ消費電力量（ODS排出量）			13.1.2 13.1.3 13.1.4 13.1.5 13.1.6 13.1.7 13.1.8
循環型社会実現への貢献					
GRI 13：マテリアルな項目 2021	3-3 マテリアルな項目のマネジメント	統合報告書>サステナビリティ経営 サステナビリティ>サステナビリティマネジメント サステナビリティ>重要課題（マテリアリティ）			13.8.1、13.9.1
GRI 306：廃棄物 2020	306-1 廃棄物の発生と廃棄物関連の著しいインパクト 306-2 廃棄物関連の著しいインパクトの管理 306-3 発生した廃棄物 306-4 処分されなかった廃棄物 306-5 処分された廃棄物	サステナビリティ>循環型社会実現への貢献 サステナビリティ>循環型社会実現への貢献 サステナビリティ 環境データ集 サステナビリティ 環境データ集 サステナビリティ>循環型社会実現への貢献 サステナビリティ>環境データ集			13.8.2 13.8.3 13.8.4 13.8.5 13.8.6
GRI 139：食料の安定確保	食品ロスの総重量（トン）および食品ロスの割合を、組織の主要な製品・生産物ごとまたはそのカテゴリごとに報告し、その計算方法を記載する	サステナビリティ>フードロス削減の数値			13.9.2
海洋プラスチック問題への対応					
GRI 13：マテリアルな項目 2021	3-3 マテリアルな項目のマネジメント	統合報告書>サステナビリティ経営 サステナビリティ>サステナビリティマネジメント サステナビリティ>重要課題（マテリアリティ） サステナビリティ>海洋プラスチック問題への対応			13.8.1

生物多様性と生態系の保全					
GRI 13: マテリアルな項目 2021	3-3 マテリアルな項目のマネジメント	統合報告書>サステナビリティ経営 サステナビリティ>サステナビリティマネジメント サステナビリティ>重要課題 (マテリアリティ)			13.3.1, 13.4.1, 13.7.1
GRI 304: 生物多様性 2016	304-1 保護地域および保護地域ではないが生物多様性価値の高い地域、もしくはそれらの隣接地域に所有、賃借、管理している事業サイト	サステナビリティ>生物多様性と生態系の保全			13.3.2
	304-2 活動、製品、サービスが生物多様性に与える著しいインパクト	統合報告書>TNFDフレームワークにもとづくリスク・機会の評価			13.3.3
	304-3 生息地の保護・復元	サステナビリティ>生物多様性と生態系の保全			13.3.4
	304-4 事業の影響を受ける地域に生息するIUCNレッドリストならびに国内保全種リスト対象の生物種	サステナビリティ>生物多様性と生態系の保全			13.3.5
GRI 13.3 「生物多様性」に関する追加的なセクター別開示事項	養殖業を行う組織を対象とした追加開示事項 ・生産された各水生生物種について、以下を報告する - 種の学名 - 生産量 (トン) - 養殖法 - 生産拠点 ・自然形で採獲され、養殖生産の投入財として利用される種苗資源について、以下を報告する - 種の学名 - 採獲量 (トン) - 漁法 - 採獲地 - 資源状況 (利用した資源状況評価・システムを含む) ・原料への漁業生産物の利用について、以下を含め報告する - 種の学名 - 利用したのは丸ごとの魚か廃棄部位 (切り落とし、切りくず、内臓) か - 採獲地 - 資源状況 (利用した資源状況評価・システムを含む)	二	情報が入手不可/不完全	水産資源調査今後継続的に実施	13.3.6
	漁業を行う組織を対象とした追加開示事項 非対象種を含む採獲または採捕された各水生生物種について、以下を報告する - 種の学名 - 採獲量 (トン) - 漁法 - 採獲地 - 資源状況 (利用した資源状況評価・システムを含む)	二	情報が入手不可/不完全	水産資源調査今後継続的に実施	13.3.7
GRI 13.4 「自然生態系の転換」に関する追加的なセクター別開示事項	組織が所有、賃借、または管理し、森林破壊や自然生態系の転換がないと判断される土地での生産量の割合を製品・生産物ごとに報告し、利用した評価法についても記載する。	二	該当せず		13.4.2
	組織が調達した製品・生産物ごとに以下を報告する-森林破壊や自然生態系の転換への関与がないと判断した調達量の割合。 利用した評価法についても記載する-森林破壊や自然生態系の転換への関与がないかを判断できるレベルまで原産地が分かっていない調達量の割合。トレーサビリティを改善するために行った措置についても記載する	二	該当せず		13.4.3
	組織が所有、賃借、または管理する土地においてカットオフ日以降に転換された自然生態系の広さ (ヘクタール)、所在地、種類について報告する	二	該当せず		13.4.4
	サプライヤーにより、あるいは調達場所において、カットオフ日以降に転換された自然生態系の広さ (ヘクタール)、所在地、種類について報告する	二	該当せず		13.4.5
GRI 303: 水と廃水 2018	303-1 共有資源としての水との相互作用	サステナビリティ>循環型社会実現への貢献			13.7.2
	303-2 排水に関連するインパクトのマネジメント	サステナビリティ>「環境価値」の創造>循環型社会実現への貢献>水資源のリスクと機会の取り組み			13.7.3
	303-3 取水	サステナビリティ>環境データ集			13.7.4
	303-4 排水	サステナビリティ>環境データ集			13.7.5
	303-5 水資源	サステナビリティ>水資源のリスクと機会の取り組み			13.7.6
安全・安心な食の提供					
GRI 13: マテリアルな項目 2021	3-3 マテリアルな項目のマネジメント	統合報告書>サステナビリティ経営 サステナビリティ>サステナビリティマネジメント サステナビリティ>重要課題 (マテリアリティ)			13.10.1, 13.9.1
GRI 416: 顧客の安全衛生 2016	416-1 製品およびサービスのカテゴリーに対する安全衛生インパクトの評価	統合報告書>安全・安心な食の提供 サステナビリティ>健康価値創造と持続可能性に貢献する食の提供			13.10.2
	416-2 製品およびサービスの安全衛生インパクトに関する違反事例	サステナビリティ>安全・安心な食の提供			13.10.3
GRI 13.9 「食料の安定確保」に関する追加的な開示事項	食品ロスの総重量 (トン) および食品ロスの割合を、組織の主要な製品・生産物ごとまたはそのカテゴリーごとに報告し、その計算方法を記載する	サステナビリティ>フードロス削減の数値			
GRI 13.10 「食の安全」に関する追加的な開示事項	国際的に認められている食品安全基準の認証を受けた拠点における生産量の割合を報告し、当該基準を一覧表示する。	サステナビリティ>安全・安心な食の提供			13.10.4
	食の安全を理由に公開したリコールの件数、およびリコール対象となった製品・生産物の総量を報告する。	品質・経営>マルチハニズグループマネジメント継続監視レポート 統合報告書>健康価値創造と持続可能性に貢献する食の提供プロジェクト 発生なし			13.10.5
GRI 417: マーケティングとラベリング 2016	417-1 製品およびサービスの情報とラベリングに関する要求事項	サステナビリティ>安全・安心な食の提供			
	417-2 製品およびサービスの情報とラベリングに関する違反事例	発生なし			
	417-3 マーケティング・コミュニケーションに関する違反事例	発生なし			
健康価値創造と持続可能性に貢献する食の提供					
GRI 13: マテリアルな項目 2021	3-3 マテリアルな項目のマネジメント	統合報告書>サステナビリティ経営 サステナビリティ>サステナビリティマネジメント サステナビリティ>重要課題 (マテリアリティ) サステナビリティ>安全・安心な食の提供 統合報告書>健康価値創造と持続可能性に貢献する食の提供プロジェクト			

多様な人財が安心して活躍できる職場環境の構築					
GRI 13: マテリアルな項目 2021	3-3 マテリアルな項目のマネジメント	統合報告書>サステナビリティ経営 サステナビリティ>サステナビリティマネジメント サステナビリティ>重要課題(マテリアリティ)			13.5.1, 13.19.1, 13.20, 13.21.1
GRI 405: ダイバーシティと機会均等 2016	405-1 ガバナンス機関および従業員のダイバーシティ	サステナビリティ>社会データ集 統合報告書>コーポレート・ガバナンス			13.5.2
	405-2 基本給と報酬総額の男女比	サステナビリティ>社会データ集			13.5.3
GRI 406: 非差別 2016	406-1 差別事例と実施した改善措置	サステナビリティ>人権の尊重			13.5.4
GRI 403: 労働安全衛生 2018	403-1 労働安全衛生マネジメントシステム	サステナビリティ>社会データ集			13.19.2
	403-2 危険性(ハザード)の特定、リスク評価、事故調査	サステナビリティ>社会データ集			13.19.3
	403-3 労働衛生サービス	サステナビリティ>安全で働きやすい職場づくりの推進			13.19.4
	403-4 労働安全衛生における労働者の参加、協議、コミュニケーション	サステナビリティ>安全で働きやすい職場づくりの推進			13.19.5
	403-5 労働安全衛生に関する労働者研修	サステナビリティ>安全で働きやすい職場づくりの推進			13.19.6
	403-6 労働者の健康増進	サステナビリティ>健康増進の推進			13.19.7
	403-7 ビジネス上の関係で直接結びついた労働安全衛生の影響の防止と緩和	サステナビリティ>持続可能なサプライチェーンの構築			13.19.8
	403-8 労働安全衛生マネジメントシステムの対象となる労働者	サステナビリティ>人権の尊重			13.19.9
	403-9 労働関連の傷害	サステナビリティ>社会データ集			13.19.10
	403-10 労働関連の疾病・体調不調	サステナビリティ>健康増進の推進			13.19.11
GRI13.21 「生活収入と生活資金」に関する追加的な開示事項	従業員および、従業員以外の労働者で当該組織によって業務が管理され重要な事業拠点での資金水準と資金の支払い頻度に関する条件を定めた労働協約の対象となっている者の割合を報告する	サステナビリティ>労働関係			13.21.2
	従業員および、従業員以外の労働者で当該組織によって業務が管理され生活資金を上回る資金が支払われている者の割合と、性別の内訳を報告する。	サステナビリティ>人権の尊重 サステナビリティ>社会データ集			13.21.3
GRI 401: 雇用 2016	401-1 従業員の新規雇用と離職	サステナビリティ>社会データ集			
	401-2 正社員には支給され、非正社員には支給されない手当	募集要項			
	401-3 育児休暇	サステナビリティ>社会データ集			
GRI 402: 労働関係 2016	402-1 事業上の変更に関する最低通知期間	サステナビリティ>労働関係			
GRI 404: 研修と教育 2016	404-1 従業員一人あたりの年間平均研修時間	サステナビリティ>社会データ集			
	404-2 従業員スキル向上プログラムおよび移行支援プログラム	サステナビリティ>成長機会の提供 統合報告書>人材戦略			
	404-3 業績とキャリア開発に関して定期的なレビューを受けている従業員の割合	サステナビリティ>成長機会の提供			
事業活動における人権の尊重					
GRI 13: マテリアルな項目 2021	3-3 マテリアルな項目のマネジメント	統合報告書>サステナビリティ経営 サステナビリティ>サステナビリティマネジメント サステナビリティ>人権の尊重			13.13.1, 13.14.1, 13.16.1, 13.17.1, 13.13.2
GRI 13.13 「土地と資源に関する権利」に関する追加的な開示事項	組織の事業活動が土地と自然資源に関する権利(慣習上、集団、非公式の保有権を含む)に影響を及ぼすと考えられる事業所の所在地を一覧表示する。 土地と自然資源に関する権利(慣習上、集団、非公式の保有権を含む)への侵害が発生した事業所の数、規模(ヘクタール)、および所在地、ならびに影響を受けた権利保有者のグループを報告する。	サステナビリティ>人権の尊重			13.13.3
GRI 411: 先住民族の権利 2016	411-1 先住民族の権利を侵害した事例	サステナビリティ>人権の尊重			13.14.2
GRI 13.14 「先住民族の権利」に関する追加的な開示事項	事業が行われる場所のうち、先住民族が存在する、あるいは組織の活動によって先住民族に影響を受ける場所を記載する。 各事業における当該組織の一切の活動において、「自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意(FPIC)」を先住民族に求めるプロセスに当該組織が参加したかどうか、以下の点を含め報告する -当該プロセスは、組織および影響を受ける先住民族の双方が承認したものであるかどうか -組織は当該プロセスの一環としてFPICの構成要素が実施されたことをどのように確認したか -合意に至ったかどうか。また合意に至らなかった場合、その合意は公表されているか	サステナビリティ>人権の尊重 サステナビリティ>人権の尊重 サステナビリティ>人権の尊重			13.14.3, 13.14.4
GRI 409: 強制労働 2016	409-1 強制労働事例に関して著しいリスクがある事業所およびサプライヤー	サステナビリティ>人権の尊重			13.16.2
GRI 408: 児童労働 2016	408-1 児童労働事例に関して著しいリスクがある事業所およびサプライヤー	サステナビリティ>人権の尊重			13.17.2
GRI 407: 結社の自由と団体交渉 2016	407-1 結社の自由や団体交渉の権利がリスクにさらされる可能性のある事業所およびサプライヤー	サステナビリティ>労働関係 サステナビリティ>人権の尊重 サステナビリティ>持続可能なサプライチェーンの構築			13.18.2
持続可能なサプライチェーンの構築					
GRI 13: マテリアルな項目 2021	3-3 マテリアルな項目のマネジメント	統合報告書>サステナビリティ経営 サステナビリティ>サステナビリティマネジメント サステナビリティ>持続可能なサプライチェーンの構築			13.11, 13.20, 13.23, 13.25.1, 13.26.1
GRI 308: サプライヤーの環境面のアセスメント 2016	308-1 環境基準により選定した新規サプライヤー	サステナビリティ>持続可能なサプライチェーンの構築			
	308-2 サプライチェーンにおけるマイナスの環境インパクトと実施した措置	基本なし			
GRI13.23 「サプライチェーンのトレーサビリティ」に関する追加的な開示事項	調達された各製品・生産物について、実施しているトレーサビリティのレベルを記載する。例えば、当該製品・生産物は、国、地方、または地域レベルまで追跡できる、あるいは特定の原産地(例:農場、孵化場、飼料工場)まで追跡できるなど	二	情報が入手不可/不完全		水産物の流通におけるトレーサビリティの電子化に向けた取り組みをステークホルダーとともに推進
	調達量のうち、サプライチェーンにおける製品・生産物の経路を追跡するための国際規格の認証を取得しているものの割合を製品・生産物別に報告し、それらの規格を記載する。	二	情報が入手不可/不完全		水産物の流通におけるトレーサビリティの電子化に向けた取り組みをステークホルダーとともに推進
	調達量のすべてが認証を受けられるように、サプライチェーンにおける製品・生産物の経路を追跡するための国際規格の認証を取得するようサプライヤーに求める改善プロジェクトを記載する	サステナビリティ>持続可能なサプライチェーンの構築			
GRI13.11 「動物の健康と福祉」に関する追加的な開示事項	第三者による動物の健康と福祉に関する基準の認証を受けた組織の拠点における生産量の割合を報告し、当該基準を一覧表示する	二	情報が入手不可/不完全		サプライチェーンにおけるアニマルウェルフェアの取り組みを推進
	養殖業を行う組織を対象とした追加開示事項 養殖水生動物の生存率および主な死因を報告する	二	情報が入手不可/不完全		サプライチェーンにおけるアニマルウェルフェアの取り組みを推進
GRI 206 反競争的行為 2016	206-1 反競争的行為、反トラスト、独占的慣行により受けた法的措置	サステナビリティ>持続可能なサプライチェーンの構築 サステナビリティ>コンプライアンス			13.25.2

GRI13.26 漏洩防止 2016	205-1 漏洩に関するリスク評価を行っている事業所	サステナビリティ・持続可能なサプライチェーンの構築		13.26.2
	205-2 漏洩防止の方針や手順に関するコミュニケーションと研修	ESG情報・コンプライアンス		13.26.3
	205-3 確定した漏洩事例と実施した措置	ESG情報・コンプライアンス		13.26.4
		発生なし		

地域・社会への価値				
GRI 13: マテリアルな項目 2021	3-3 マテリアルな項目のマネジメント	統合報告書>サステナビリティ経営		13.12.1, 13.22.1
GRI 201 経済パフォーマンス 2016	201-1 創出、分配した直接的経済価値	サステナビリティ>サステナビリティマネジメント		
GRI 203 間接的な経済的インパクト 2016	203-1 インフラ投資および支援サービス	有価証券報告書>企業概況		13.22.2
GRI 413 地域コミュニティ2016	413-1 地域コミュニティとのエンゲージメント、インパクト評価、開発プログラムを実施した事業所	サステナビリティ>地域・社会への価値		13.22.3
	413-2 地域コミュニティに著しいマイナスのインパクト（顕在的、潜在的）を及ぼす事業所	—	該当なし	13.12.3
マテリアルではないセクター別開示事項				
GRI 13.5 土壌の保護	中期経営計画「For the ocean, for life 2027」のサステナビリティ戦略をもとに、9つのマテリアリティを特定。当該事項は、当社グループの事業に関連性が低く、影響の重要性が低い。	マテリアルでない理由		
GRI 13.6 農薬の使用	中期経営計画「For the ocean, for life 2027」のサステナビリティ戦略をもとに、9つのマテリアリティを特定。当該事項は、当社グループの事業に関連性が低く、影響の重要性が低い。			
その他、マテリアルではないが参照した項目別開示事項		開示事項	掲載場所/説明	
GRI 201: 経済パフォーマンス 2016	201-3 確定給付型年金制度の負担、その他の退職金制度	有価証券報告書	有価証券報告書	
	201-4 政府から受けた資金援助	マルハニチロ企業年金基金	マルハニチロ企業年金基金	
GRI 202: 地域経済での存在感 2016	202-1 地域最低賃金に対する標準的新入社員給与の比率（男女別）	該当なし	該当なし	
	202-2 地域コミュニティから採用した上級管理職の割合	募集要項	募集要項	
GRI 207: 税金 2019	207-1 税務へのアプローチ	有価証券報告書(第81期)p28	有価証券報告書(第81期)p28	
	207-2 税務ガバナンス、管理、およびリスク管理	有価証券報告書(第81期)p28	有価証券報告書(第81期)p28	
	207-3 税務に関連するステークホルダー・エンゲージメントおよび懸念への対応	—	—	
	207-4 税管轄区域ごとの納税状況報告	—	—	
GRI 301: 原材料 2016	301-1 使用原材料の重量または体積	—	—	
	301-2 使用したリサイクル材料	—	—	
	301-3 再生利用された製品と梱包材	サステナビリティ>循環型社会実現への貢献	サステナビリティ>循環型社会実現への貢献	
GRI 302: エネルギー 2016	302-1 組織内のエネルギー消費量	サステナビリティ>環境データ集	サステナビリティ>環境データ集	
	302-2 組織外のエネルギー消費量	サステナビリティ>環境データ集	サステナビリティ>環境データ集	
	302-3 エネルギー原単位	—	—	
	302-4 エネルギー消費量の削減	—	—	
	302-5 製品およびサービスのエネルギー必要量の削減	—	—	
GRI 410: 保安標行 2016	410-1 人権方針や手順について研修を受けた保安要員	サステナビリティ>人権の尊重	サステナビリティ>人権の尊重	
GRI 418: 顧客プライバシー 2016	418-1 顧客プライバシーの侵害および顧客データの紛失に関して具体化した不服申立	発生なし	発生なし	